

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	公共下水道管渠布設事業（市街化調整区域）				
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係	課長名 廣瀬 裕

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 市街化の整備	施策番号	4 - 1	-
	総合計画書 (ページ)	83	

予算名	款 2	事業費	項 2	建設事業費	目 1	建設事業費	事業 15	工事請負費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	-------	-------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 下水道の事業面積。	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 未共用地区（市街化調整区域等）の管渠布設工事より
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 下水道を使用できるようにする。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 下水道整備済み面積／下水道事業面積
	③ そのために何をしましたか。 現地調査・設計・積算事務等を行い、工事を発注し管渠布設工事を実施した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 下水道の供用開始面積

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	ha	1,009.2	1,009.2	1,009.2	/
	成果指標	②の数値	%	97.6	97.8	98.0	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	ha	984.60	986.25	989.16	/

3 経費	事業費（実績）		円	22,334,400	29,268,000	4,590,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	0	0	0	
		特定財源	円	22,334,400	29,268,000	4,590,000	
		(うち受益者負担)	円	3,314,190	2,034,090	992,900	
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人	0	0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100.0	2,034,090.0	2,473,200	
	職員人件費(再任用)	円	0.0	0.0	0		
	事業費＋人件費	円	24,814,500	31,302,090	7,063,200		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。 昭和51年に下水道事業を開始し、生活環境の改善や河川等の水質保全、下水（汚水）の排除と処理を目的に開始した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 開始当初は、下水道が未整備であったが、現在、一部の地域を除いてほぼ100%に近い整備となった。また河川等の水質の改善が図られ、小魚などが見られるようになり、生活環境が改善され、宅地化が進んでいる。

仕 事 の 内 容	公共下水道管渠布設事業（市街化調整区域）			
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係 課長名 廣瀬 裕

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	特に無かった。		

6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 事業区域の公共下水道整備率を100%にする。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 未普及地域での管渠布設工事を実施した。		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 引き続き、事業区域の公共下水道整備率を100%に近づける。		

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 未普及地域での管渠布設工事を実施する。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 未普及地域への下水道整備を実施する。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------